

# 暴力とダイアログ

向後善之

# ダイアローグの3要素

- 対等性
- 多様性(ポリフォニー)
- 不確実性への耐性

双方にこの3要素を維持しようという絶え間ない努力がなければ、(理想的な)対話は成立しない。

# 究極の暴力である「戦争」においては

- 対等性は、失われている。勝者と敗者の存在。
- 多様性は、損なわれている。戦争は、相手国の自主性を奪おうとする行為。
- 不確実性への耐性は、尊重されない。「待つ」ことが敗北を意味する状況がたくさんある。そもそも、不確実な状況に耐えられなくなった時に戦争が起こり得る。

# 戦争とは

- 平和を手に入れるより、戦争を始める方がはるかに易しい。(クレマンソー; フランス政治家)  
It is far easier to make war than to make peace.
- いかに必要であろうと、いかに正当化できようとも、戦争が犯罪だということを忘れてはいけない。(ヘミングウェイ; アメリカ)  
Never think that war, no matter how necessary, nor how justified, is not a crime.

# 戦争とは

- 他者と戦争をしているとき、自分自身に対しても平和ではいられない。(ウィリアム・ヘイズリット; イギリス批評家)

Those who are at war with others are not at peace with themselves.

- あらゆる戦争は、考える動物としての人間の失敗という症状である。(ジョン・スタインベック アメリカ小説家)

All war is a symptom of man's failure as a thinking animal.

# 暴力にあってしまったら

- まずは、暴力という行為を止めてもらうように交渉し、暴力が止まった時点で、対話を試みる。
- 暴力が止まらず、対話が不可能になった状態では、「耐える」か「逃げる」か「戦う」しかない。
- 「耐える」にしても「逃げる」にしても「戦う」にしても、チャンスがあれば対話に持っていく準備をしておく。

# 戦いで行っていること

- 匹夫の勇
- 圧倒的な勢力で攻撃する。
- 奇襲攻撃
- 籠城戦、市街戦、ゲリラ戦
- 調略
- 情報戦
- 戦わない

# 戦い方(孫子の兵法他より)

- ダメな戦い方: 匹夫の勇  
正義のために正攻法で戦い続け、それで勝てないというのは、よくない方法。そうした戦い方を、匹夫の勇と言う。  
それは、生卵を岩にぶつけるようなもので、いくら正しくても必ず負ける。こうした戦いはすべきではない。



# 戦い方(孫子の兵法他より)

- 1) 圧倒的な勢力で攻撃する。
  - ・・・こちらが圧倒的に人数で勝った上で戦う。人数が圧倒的に多い場合、正攻法に持っていけば、こちらが勝つ。長期戦に持ち込むのも、相手が消耗するので良い方法。

# 戦い方(孫子の兵法他より)

- 2) 奇襲攻撃

・・・人数が少ない時、相手の隙をついて一気に破ること。

これは、少人数でも勝つ方法だが、よほどの能力がないと勝てない。決して長期戦に持って行ってはいけない。一気にあっという間に叩いて徹底的に相手を潰すこと。

<例>

三国志の赤壁の戦い、  
織田信長の桶狭間の戦いなど。

# 戦い方（孫子の兵法他より）

- 奇襲攻撃の応用、つり野伏  
戦って仕方なく撤退するフリをして、自分の有利な場に追い込んで、そこで待ち伏せしていた兵隊が、一気に敵を叩くというやり方。  
戦国の薩摩藩が得意な戦法。

# 戦い方（孫子の兵法他より）

- 3) 籠城戦（あるいは、市街戦、ゲリラ戦）  
戦いを仕掛ける側からすれば、城を攻める戦いが最も時間もかかり、犠牲も多くなる。城を攻める場合、城側の10倍以上の勢力がなければならぬとも言われる。人数が少ない側は、籠城することによって、ある程度まで持ちこたえることができる。

籠城するのは、やがて味方の援護が期待できるとき時のみに有効である。

<例>  
広武山での劉邦の籠城戦

# 戦い方(孫子の兵法他より)

- 4) 調略
  - ・・・相手を分裂させたり(離間の計)、油断させたりして、スキをついて勝つ。

「兵は詭道なり」  
戦争とは、所詮、騙し合いであるということ。

<例>

陳平が流した「范増(項羽の参謀)が処遇に不満を持っている」という流言

日露戦争時の、明石元二郎によるロシア革命支援工作

# 戦い方(孫子の兵法他より)

- 5) 情報戦

より多くの正確な情報を持つことによって有利な立場に立つことができる。

場合によっては、偽りの情報を相手側に流すこともある。

孫子の兵法では、用間の計と言う。

間とは、間諜(=スパイ)のこと。

<例>

ドイツのエニグマとイギリスのアラン・チューリング

# 戦い方（孫子の兵法他より）

- 6) 戦わない  
最も理想的な方法。戦わずに実利を得ること。高い戦略眼と決して動じない心が必要。

<例>

日中国交回復

# 戦わずに、問題を解決させるには

- 一つの方法として、  
ダイアローグ（対話）が、ある。



# ダイアログ(対話)とは？

- お互いの違いが明らかになったとき、その違いの意味を探究するときに有効なコミュニケーション方法。
- 違いを、善悪・好悪・優劣・正誤で判断するのではない。
- 違いに興味を持つことができれば、対話は起こりやすい。
- 自分の正義・信条・倫理・文化が、必ずしも絶対ではないという考え方が大切。

# <ダイアログ>の基本原則

- 1、あくまで1対1の関係であること。
- 2、人間関係が完全に対等であること。<対話>が言葉以外の事柄(例えば脅迫や身分の差など)によって縛らないこと。
- 3、相手に一定のレッテルを貼る態度をやめること。相手をただの個人として見ること。

# <ダイアログ>の基本原則

- 4、いかなる相手の質問も疑問も禁じてはならないこと。
- 5、いかなる相手の質問に対しても答えようと努力すること。
- 6、相手との対立を見ないようにする、あるいは避けようとする態度を捨て、むしろ相手との対立を積極的に見つけてゆこうとすること。

# <ダイアログ>の基本原則

- 7、相手との見解が同じか違うかと言う二分法を避け、相手との些細な「違い」を大切にし、それを「発展」させること。
- 8、社会通念や常識に納まることを避け、つねに新しい理解へと向かってゆくこと。
- 9、自分や相手の意見が途中で変わる可能性に対して、つねに開かれてあること。
- \*「対話のない社会」中島義道著 PHP新書より、特に重要であると思われるものを抜粋した。

# 戦いから対話へ……

- 例えば、  
薩長連合での坂本龍馬による仲介  
江戸城無血開城での西郷隆盛と勝海舟の会談  
鴻門の会での樊噲の狂気  
ヴェトナム戦争後半でのアメリカの世論

- YouTube チャンネル 「酔いどれカウンセリングセミナー」の過去の動画は、こちらからどうぞ↓  
<https://www.youtube.com/channel/UC4F0mjZ4AdEnc96AxjtRvNA>